『心を育てる』感動コミック VOL.3

一人ひとりに未来を創る力がある

テラ・ルネッサンスⅠ

生きる力が湧いてくる…

「今、やっている活動は、お金を払ってでもやりたいんです」
と言っていた鬼丸昌也。すげーヤツです。

てんつくマン

『心を育てる』感動コミック VOL.3

一人ひとりに未来を創る力がある

テラ・ルネッサンスⅠ

作：田原 実　画：西原 大太郎

『心を育てる』感動コミックは、
思いやりと感動の創造を
サポートしたいと願っています。

『心を育てる』感動コミック VOL.3

一人ひとりに未来を創る力がある
テラ・ルネッサンスⅠ

【目次】

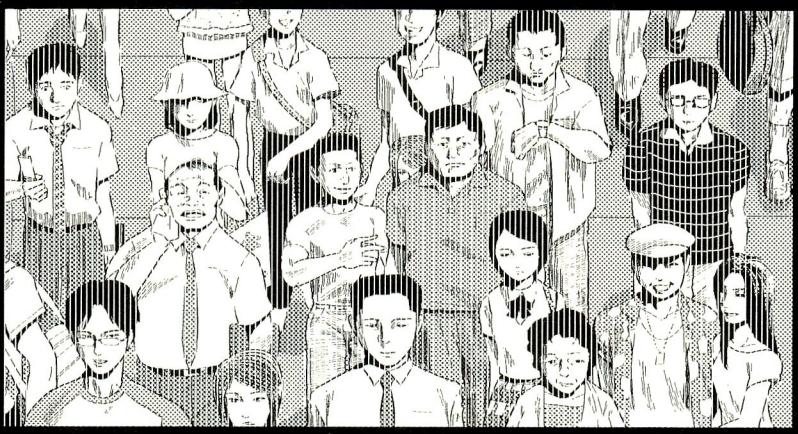
＜第一話＞
子ども兵 …… 13

＜第二話＞
理事長 鬼丸昌也 …… 45

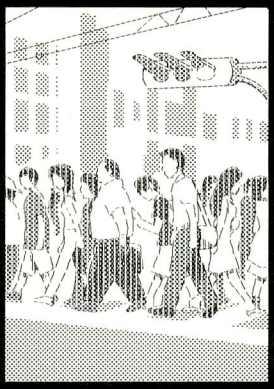
＜第三話＞
ウガンダ駐在代表 小川真吾 …… 69

＜第四話＞
ウガンダからのメッセージ …… 145

第二次世界大戦後

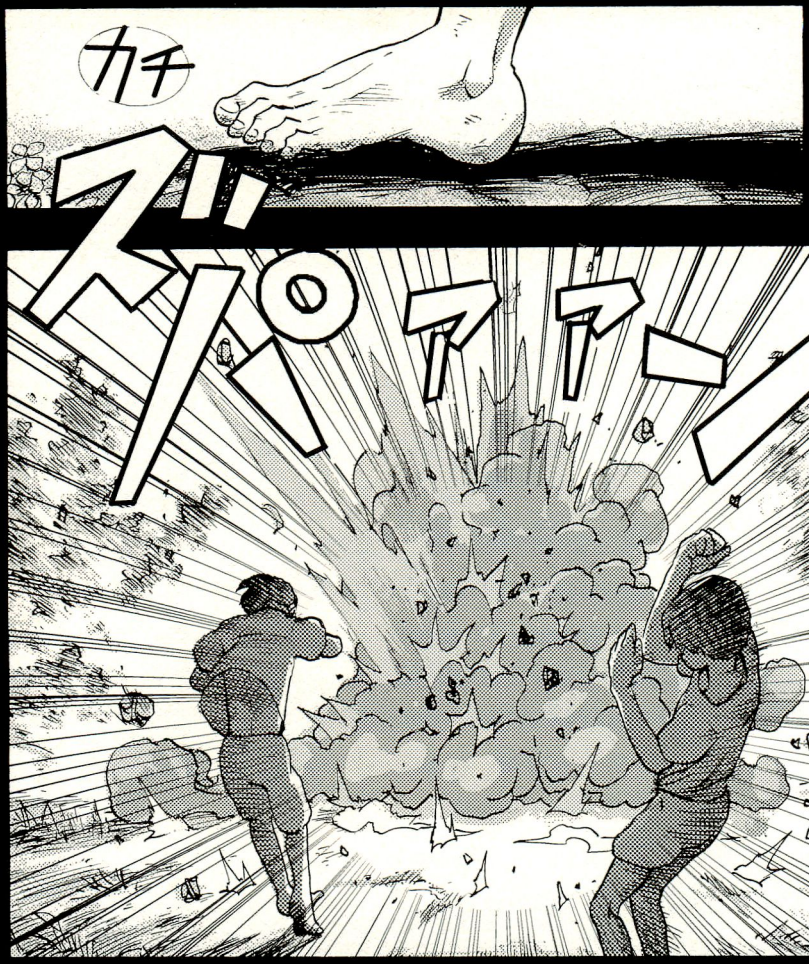


平和な時代が続く日本



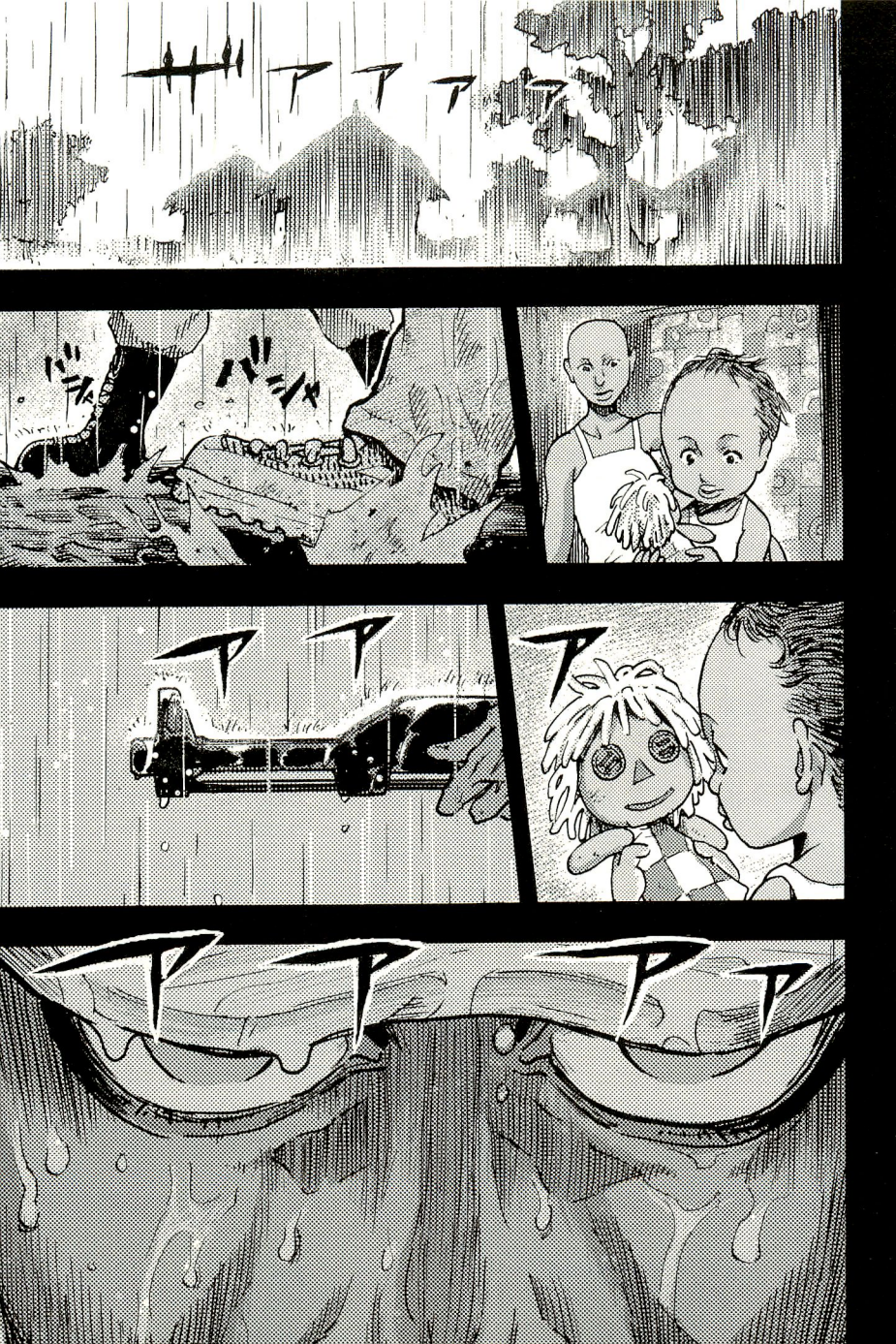
しかし 世界では
ドド
ドド

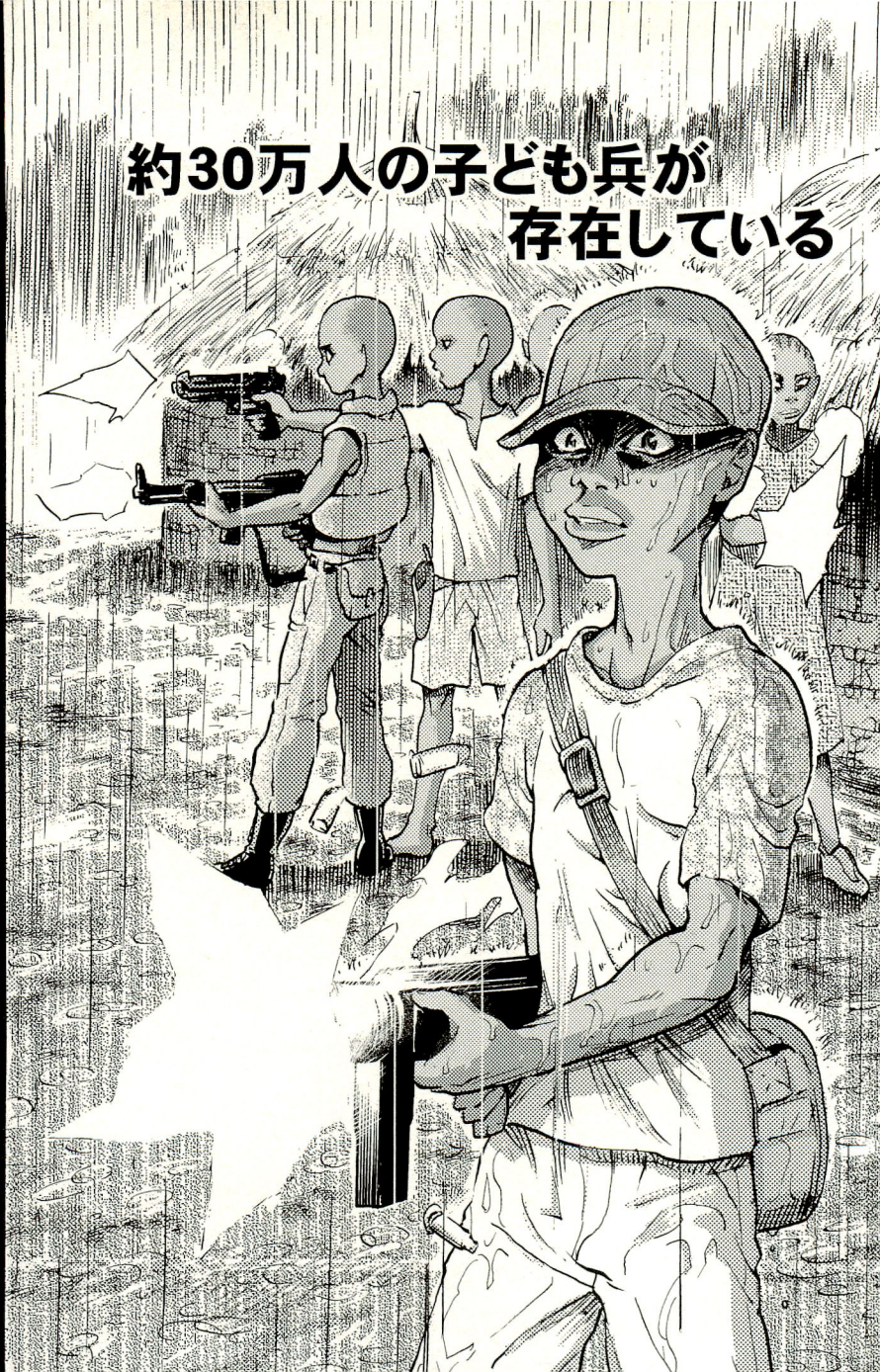
同じ空の下で、戦争や紛争が
絶え間なく続いている



ゴゴゴ…　ゴ…

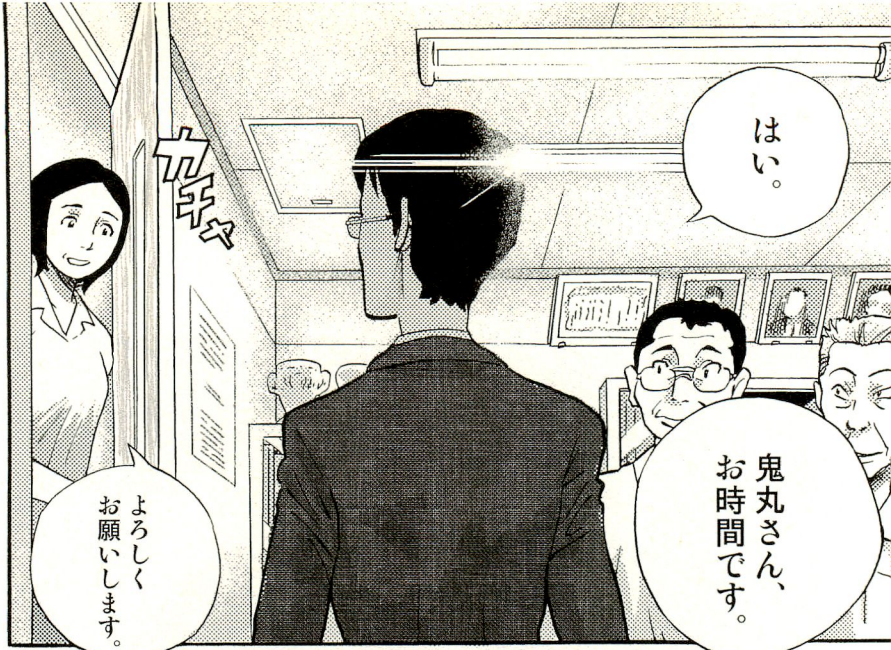
6000万～7000万個の地雷と

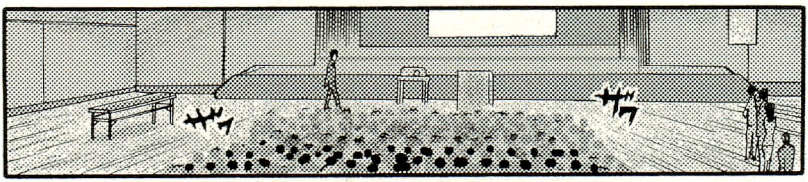

ザアアア
バシャ

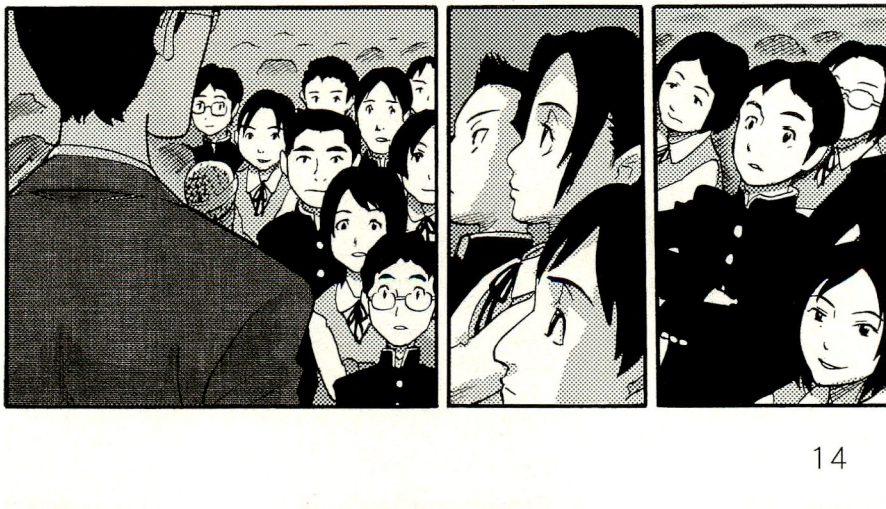

約30万人の子ども兵が
存在している

ザァアアアア
私たちは
これらの問題に対して
無力なのだろうか？

1. 子ども兵


はい。
鬼丸さん、
お時間です。
カチャ
よろしく
お願いします。


ザワ
ザワ



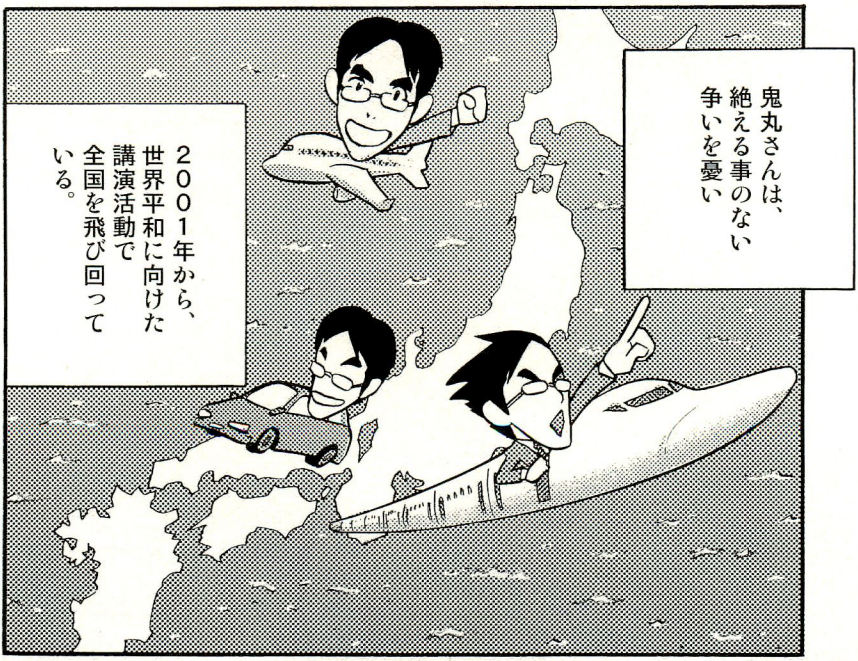
みなさん、
こんにちは。
特定非営利活動
（ＮＰＯ）法人
テラ・ルネッサンスで
理事長をしています。
鬼丸と
申します。
NPO法人テラ・ルネッサンス
理事長 鬼丸（おにまる） 昌也（まさや）さん

NPO（特定非営利活動法人）

『テラ・ルネッサンス』とは

Terra Renaissance

２００１年１０月に設立。アフリカのウガンダ北部（グル県）において
ゲリラ軍から保護された元・子ども兵の社会復帰プロジェクトや、
カンボジアでの地雷除去支援、また、
小型武器の不法取引規制のキャンペーン活動を行っている。



小・中・高校生から、社会人、高齢者まで
年間約１４０回の講演をこなし
世界で起こっている現状と、それを打開するために自分たちができる事を
熱く語っている。

私は
子ども兵の存在を
知った時から
この問題を
見過ごすことが
できなく
なりました。

現在
世界には
確認されて
いるだけで、
18歳未満の
子ども兵が
約30万人
存在して
います。

子どもが
兵士になる
過程には、
二つのパターンがあり

一つは

!!

自分の意思と
関係なく

拉致や誘拐によって
強制されるパターン。

もう一つは

ザッ

貧しさが
原因で

自ら進んで
軍隊に入る
パターン。

「兵士になれば
給料が
もらえる」

「食べ物に
困らない」

豊かな日本で
生活している
私たちには
信じられない
事ですが

子ども兵の
約六割が
自ら兵士になった
という説も
あるのです。

グローバル化の中、
富める者は富み、
貧しい者は貧しいままという
二極化が進んでいく……。

そんな背景も、
子ども兵を
生み出す原因の一つ
なのです。

そして
子ども達は
軍隊の中で
様々な過酷な
体験をすることに
なります。

大人の兵士と
同様の訓練や
労働をさせられる
のに

給料や食料は、
いつも後回し。

さらに、
ちょっとした事で
厳しい懲罰も
受けます。

ウガンダでは、
少女兵が
おしゃべりをして
いただけで、
唇を切りとる
『リップカット』という
懲罰があります。

ネパールでは、
鼻を十字に
傷つける
『ノーズカット』が
行われていた事も
あります。

一人の子どもを
見せしめにして
複数の
子どもの心を、
『恐怖』で
縛り上げる。

このように、
子ども達を
効率的に
コントロールする
術を
軍の指導者は
よく知って
いるのです。

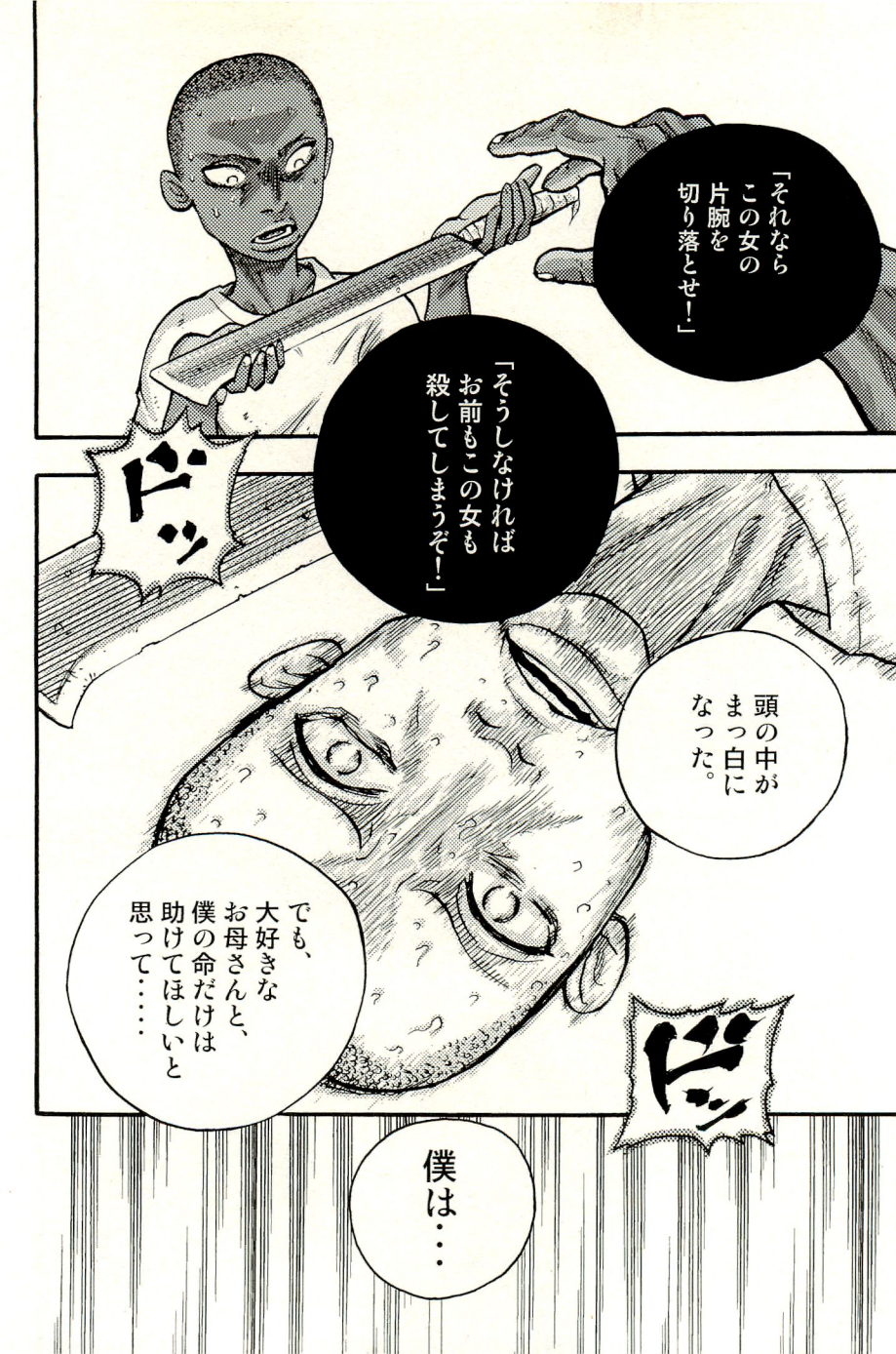
他にもこんな洗脳方法があります。
自分の生まれ育った村へ連れて行き、
一番大切な家族や親戚、友達を自らの手で……
無くしていくのです。
こうやって人を殺める事へのためらいを

ウガンダの元・子ども兵 コマケチ君(仮名)

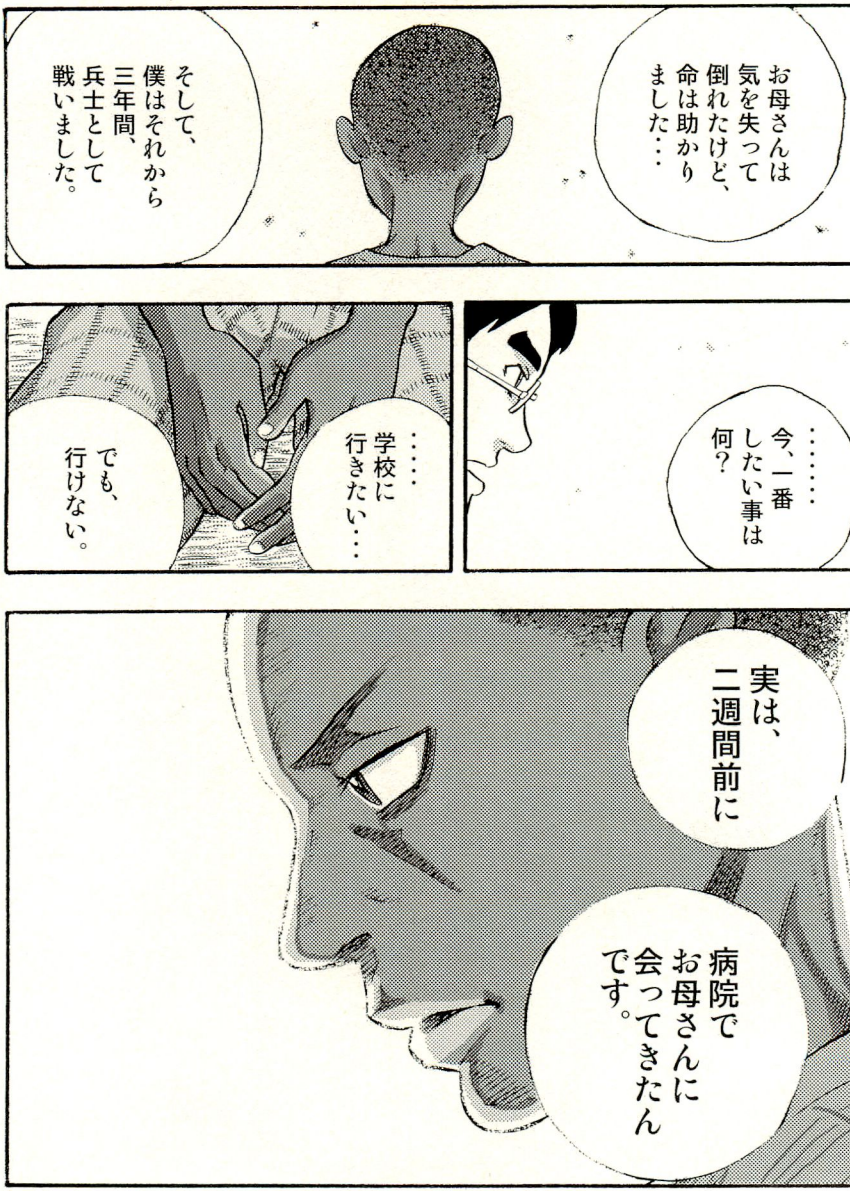
12歳のある日、
お母さんが
隣の村に
出掛けて…
2004年、
ウガンダ北部
グル県を
訪れた時に
出会った
彼の話は
衝撃的でした。
僕は
お母さんの
帰りが
待ちきれ
なくて、
隣の村へ
迎えに
行きました。
でも…
その途中で
反政府軍に
捕まって、
部隊に連れて
行かれたんです
…

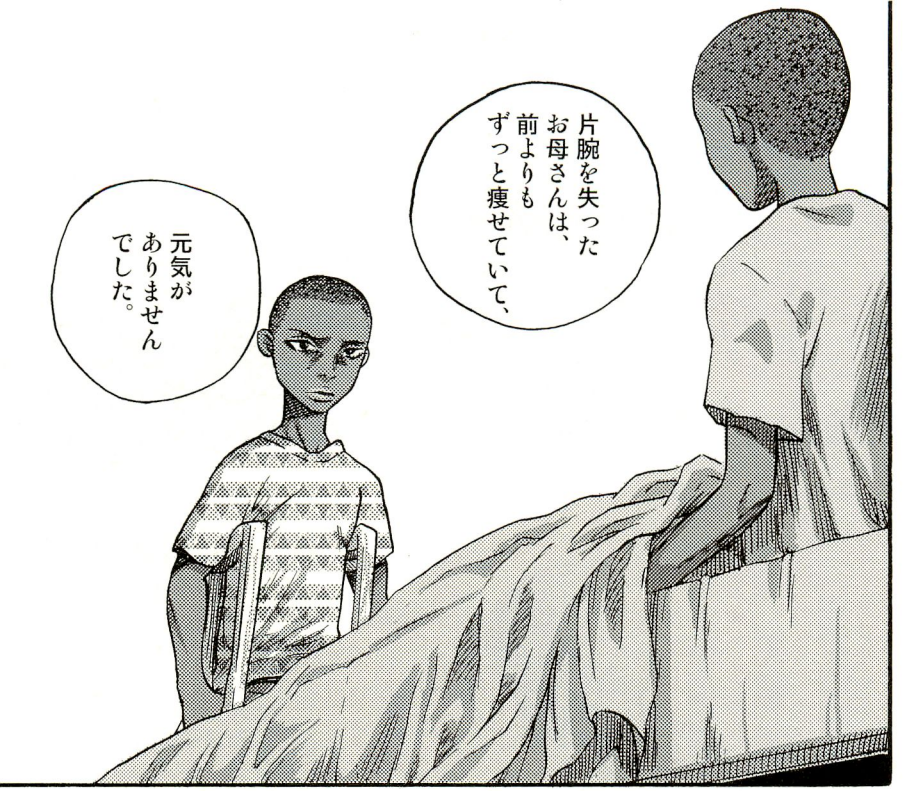
ブオオオオ
ガタ
ガタン
ドックン
ドックン
その数日後、
大人の兵士たちは
僕を村まで
連れて行きました。
そして…
ドックン

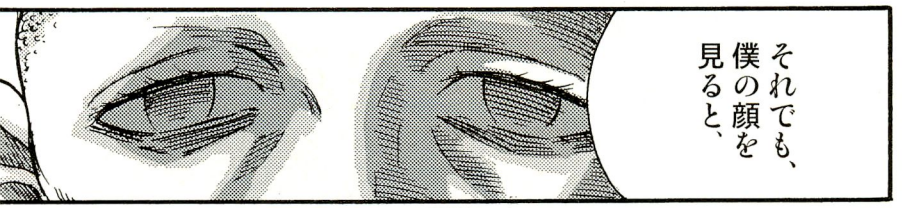
僕のお母さんの目の前で、こう命令しました。
ドックン
ドックン
ドックン
「この女を殺せ」
ドッ
兵士がお母さんを銃の先でこづくので、とても怖かったけど、
ドッ
ドッ
僕は、「そんな事できない」って言いました。
すると…


「それなら
この女の
片腕を
切り落とせ！」
「そうしなければ
お前もこの女も
殺してしまうぞ！」
ドッ
頭の中が
まっ白に
なった。
でも、
大好きな
お母さんと、
僕の命だけは
助けてほしいと
思って……
ドッ
僕は…

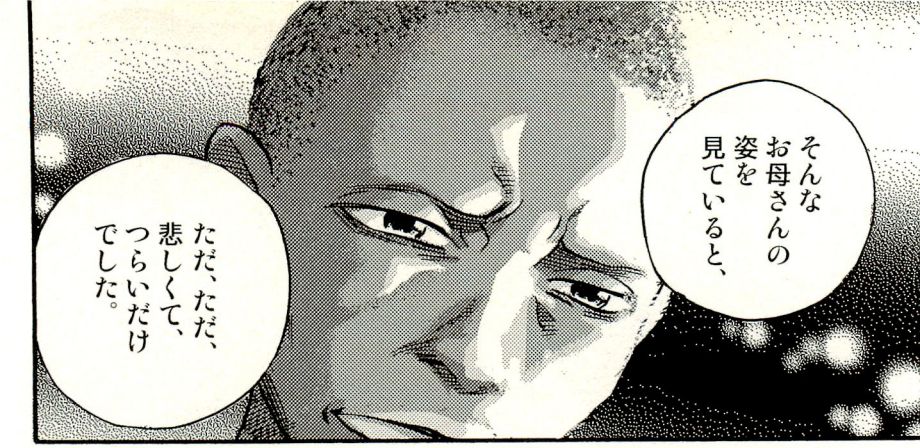
気づいた
時には
お母さんの
手首が
地面に
落ちていました。
今度は棒を
持たされて、
「これで
女を殴れ！」
と命令されて、
お母さんを
棒で
殴りました。


お母さんは気を失って倒れたけど、命は助かりました…
そして、僕はそれから三年間、兵士として戦いました。
……今、一番したい事は何？
……学校に行きたい…
でも、行けない。
実は、二週間前に
病院でお母さんに会ってきたんです。


片腕を失った
お母さんは、
前よりも
ずっと痩せていて、
元気が
ありません
でした。


それでも、
僕の顔を
見ると、

「軍隊で、
どんなつらい目に
あったの？」
と、優しく
話しかけて
くれました。


そんな
お母さんの
姿を
見ていると、
ただ、ただ、
悲しくて、
つらいだけ
でした。

僕はもう、
以前と
同じように
お母さんの
愛を
感じる事は
できなかった
のです。

お父さんは病気で、仕事ができないから学校に行くお金はないし…

僕には絶望しか残っていない……

この当時、

お母さんの知人に引き取られていたコマケチ君は、悲痛な表情で話してくれました。

軍隊は

子どもたちの恐怖心を無くすために手段を選びません。

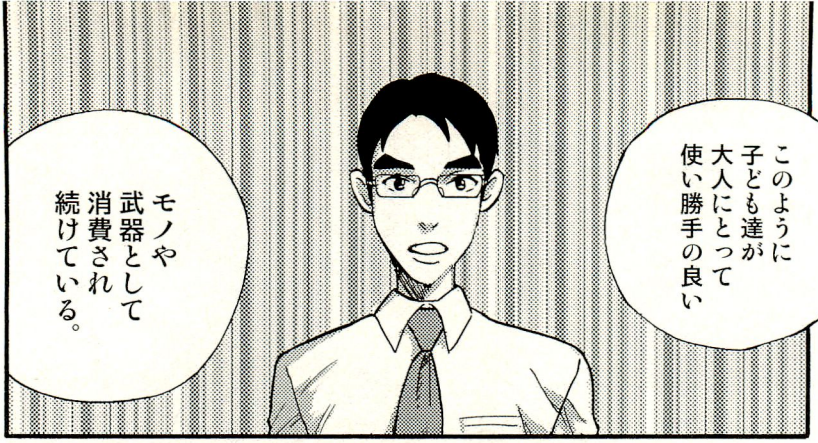
コポ

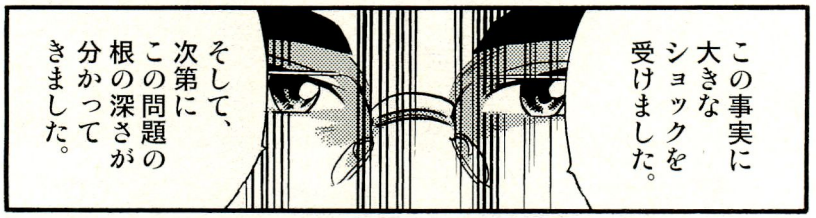
ぐつ ぐつ

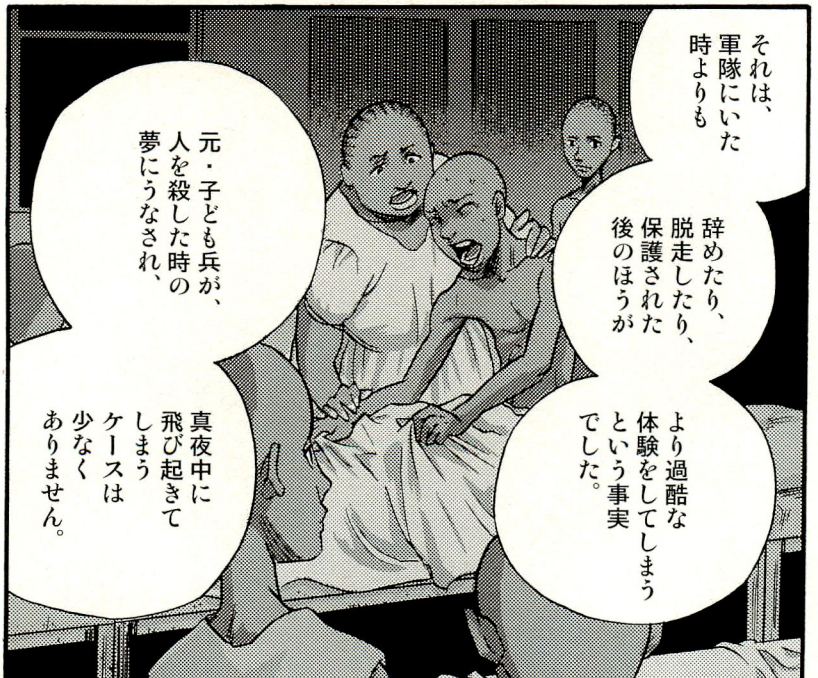
コポ

アフリカのある国では、
お茶の中に
マリファナと
砂糖を混ぜて
煮込んだ
『マリファナ茶』を
飲ませ、
また、別の国では
銃弾に使う
火薬を
鼻から
吸わせます。
そして、
麻薬や火薬・アルコールによって、
興奮した子ども達に
大人は命令するのです。
HAAA
WOWOOO
お前達は今、
神様が与えて
下さった
薬を飲んだのだ！
だから
死にはしない
行け！
戦え！

ゴゴゴ…
パラ
パラ
子ども兵は、
地雷のない
安全な
通り道を
確認するために
地雷原を
歩かされる
事もあります。
ジャリ…


このように
子ども達が
大人にとって
使い勝手の良い
モノや
武器として
消費され
続けている。


この事実に
大きな
ショックを
受けました。
そして、
次第に
この問題の
根の深さが
分かって
きました。


それは、
軍隊にいた
時よりも
辞めたり、
脱走したり、
保護された
後のほうが
より過酷な
体験をしてしまう
という事実
でした。
元・子ども兵が、
人を殺した時の
夢にうなされ、
真夜中に
飛び起きて
しまう
ケースは
少なく
ありません。

子ども達は、
私たちの
想像をはるかに
超えた
心の傷を
受けているのです。

さらに、

問題なのは
「暴力や
権力への依存」
が身について
しまっている
ケースです。

軍隊で、
周りにいる
大人達に
自分の事を
知ってほしい
認めてほしいと
思ったら、

方法は二つ。

「人よりも
多く物を
盗むこと」

「人よりも
多く敵を
殺すこと」

これが
全てなのです。

戦争の首謀者は、
利益が確保できると

自分達の都合で
始めた戦争を、
突如として
止めてしまい
ます。

その後、
生まれ育った村に
戻ってきた
元・子ども兵は、

急激な
環境の変化に
ついていけません。

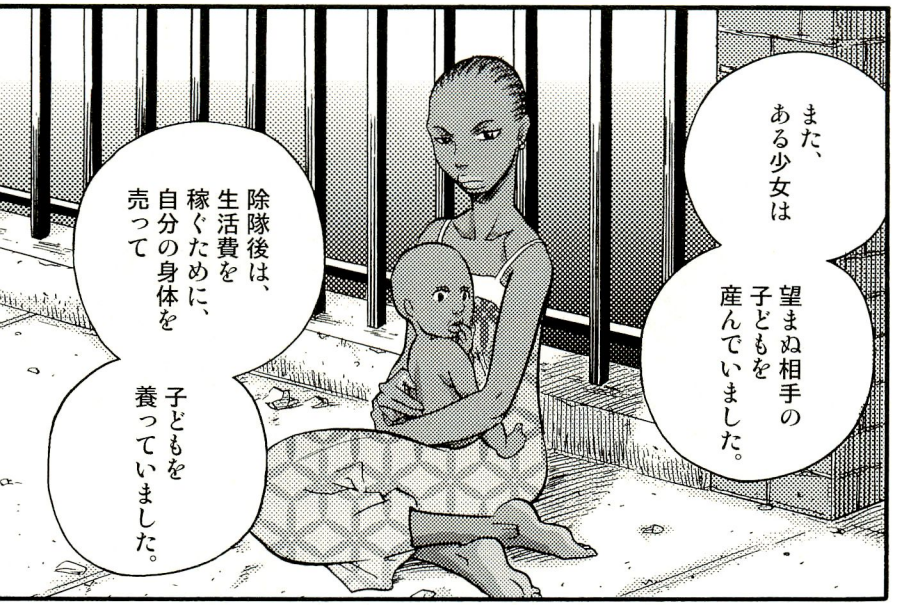
子ども達と
遊んで
いても、

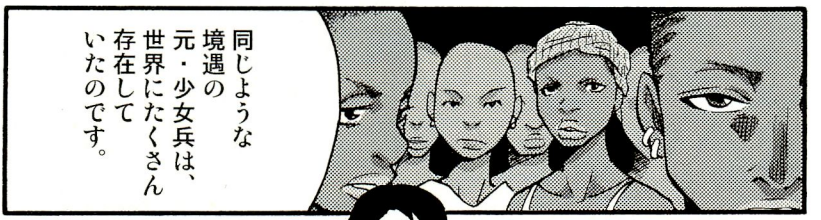
ちょっとした
意見の
食い違いで、
暴力を
振るったり、

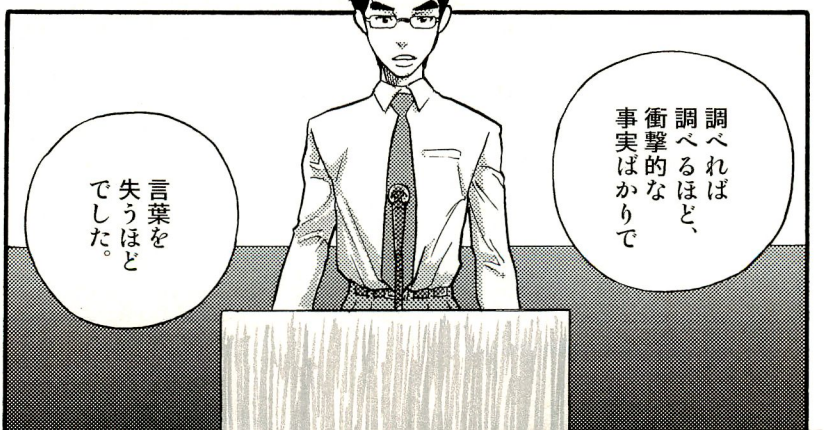
大人から
注意されても
暴力で
反抗して
しまうのです。

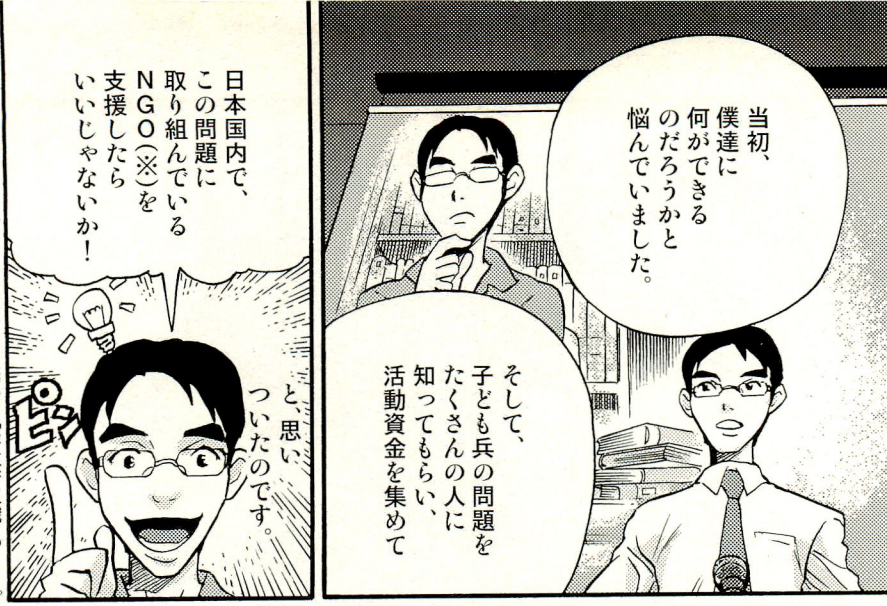
紛争から戻ってきた
ある少年は、
故郷に
なじむことは
できず・・・

精神面だけでなく
経済的にも
苦しくなり
結局、
軍隊に戻って
しまいました。
ヒュウ
ウウ

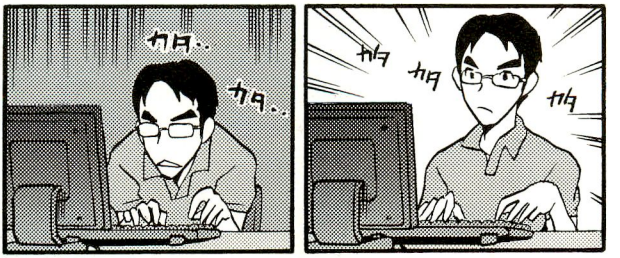

また、
ある少女は
望まぬ相手の
子どもを
産んでいました。
除隊後は、
生活費を
稼ぐために、
自分の身体を
売って
子どもを
養っていました。

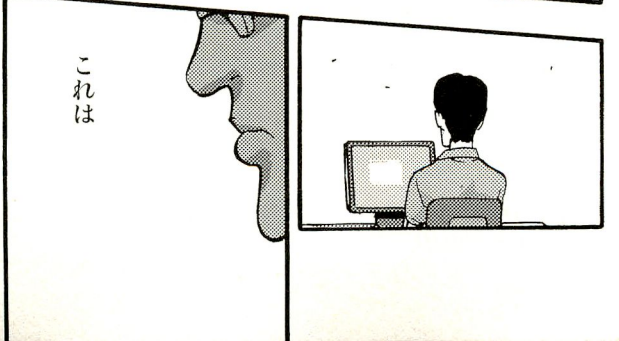

同じような
境遇の
元・少女兵は、
世界にたくさん
存在して
いたのです。


調べれば
調べるほど、
衝撃的な
事実ばかりで
言葉を
失うほど
でした。



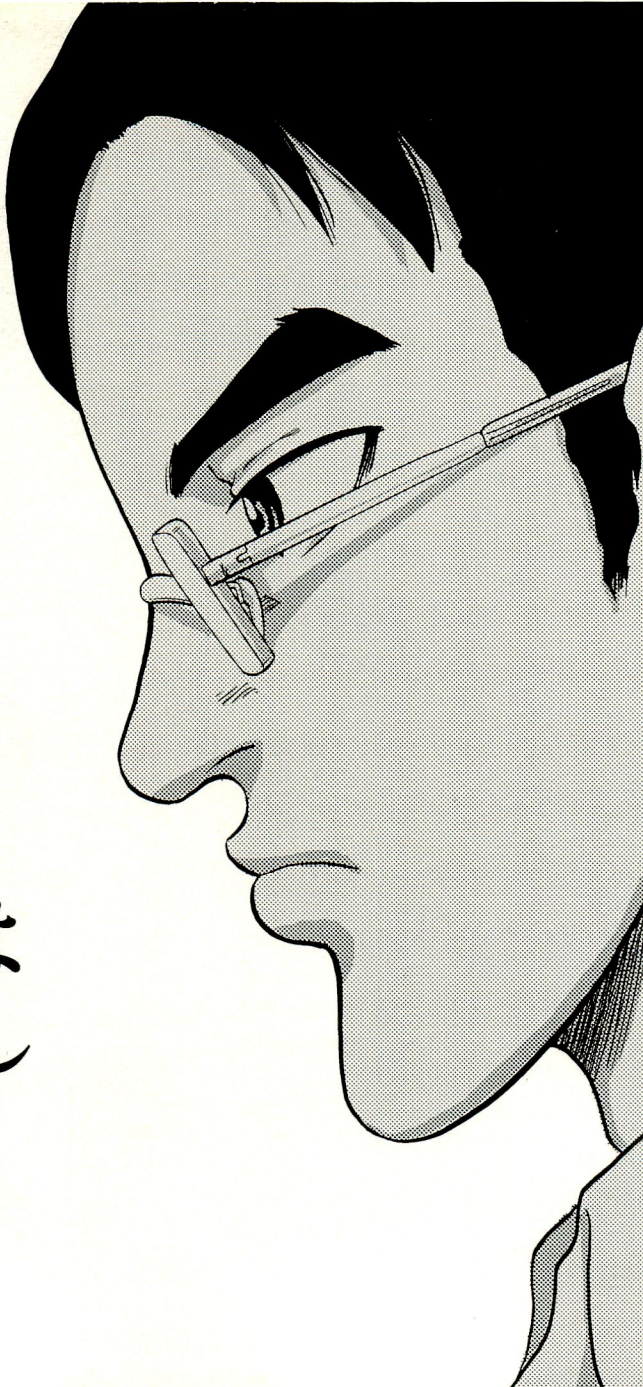
※NGOとは、国際協力に携わる「非政府組織」のこと。





「何かをやれ」
「動け」

という
メッセージ
なのだろうか……


よし！